

忠



和

第1号

令和7年4月30日

令和7年度 旭川市立忠和小学校 学校だより

春、新たな一歩をともに

校長 南山 夕子

春の日差しの中、元気いっぱいの子どもたちの声が学校に戻ってきました。新しい年度が始まり、また子どもたちと過ごせる毎日に、私たち教職員も心を弾ませています。本校は開校48年目を迎え、「心もからだも健康な子ども」の育成を目標に、一人ひとりの個性や可能性を大切にしてきました。今年度も、子どもたちの成長を支えるため、教職員一丸となって取り組んでまいります。

◇今を生き、未来をひらく力を

社会は目まぐるしく変化しています。これからの時代を生きる子どもたちには、「正解を見つける力」だけでなく、自分で問いを立て、周りとの協力しながら解決していく力が求められています。

そうした力の土台となるのが、日々の学校生活での出会いや体験です。友だちとの対話や、意見がぶつかる中での気づき、一緒に笑ったり、時には悩んだりする時間。それらの積み重ねが、他者とつながりながら自分の考えを深める力を育ててくれると信じています。

◇「わかった」「できた」の喜びを大切に

本校では、「自立」「思いやり」「感動」の3つを大切に、バランスのとれた学びを目指しています。

ICTの活用や、子ども一人ひとりの理解や関心に応じた学び、仲間と共に学び合う授業づくりにも力を入れています。私たちが何より大切にしているのは、すべての子どもが「わかった」「できた」と感じながら、自信をもって前へ進んでいけることです。その喜びが、「もっとやってみたい」という学ぶ意欲につながるように、丁寧に支えてまいります。

◇子どもたちの成長を、いっしょに見守りながら

子どもが「ここにいていい」と思えることは、安心して学ぶためにとても大切なことです。自分の存在が認められていると感じられることが、挑戦する気持ちや人とのつながりを生む力になります。そのために、私たちは「どの子にも居場所がある教室づくり」を大切にしています。

子どもたちの育ちは、学校だけでつくれるものではありません。家庭・地域・学校の3つの環境がつながり合うことで、子どもたちはより豊かに育っていきます。

今年度も、保護者、地域の皆さまと手を取り合い、子どもたちの歩みに寄り添いながら、その成長をしっかりと支えてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

